

(市長記者会見資料)

平成 2 0 年 9 月 3 日

京 都 市
〔 総合企画局市長公室秘書課 〕
電話 2 2 2 - 3 0 6 6

おかだときんど
岡田節人氏の京都市名誉市民への内定について

この度、京都大学名誉教授で発生生物学者の岡田節人氏に、京都市名誉市民の称号をお贈りすることを内定致しました。

1 岡田 節人氏について

(1) 主な略歴

- ・ 昭和 2 年 2 月 4 日兵庫県伊丹市生まれ、 8 1 歳
- ・ 京都市左京区在住
- ・ 京都大学理学部教授（昭和 4 2 年～昭和 6 0 年）
- ・ 京都大学名誉教授（昭和 6 0 年～現在）
- ・ 岡崎国立共同研究機構長（平成元年～平成 3 年）
- ・ J T 生命誌研究館館長（平成 5 年～平成 1 4 年）
- ・ J T 生命誌研究館名誉顧問（平成 1 4 年～現在）
- ・ 京響友の会会長（平成 1 3 年～現在）
- ・ 財団法人京都市音楽芸術文化振興財団理事長（平成 1 9 年～現在）

(2) 受賞歴

- ・ 国際発生生物学会ハリソン賞（平成元年）
- ・ 紫綬褒章（平成 2 年）
- ・ 文化功労者（平成 7 年）
- ・ 勲二等旭日重光章（平成 1 0 年）
- ・ 文化勲章（平成 1 9 年）

(3) 功績等

永年の研究生活を通じて、目の色素上皮細胞が水晶体へと転換することを実証し、世界で初めて水晶体細胞の培養に成功されるなど、発生生物学(※)の発展に大きな足跡を残された。また、一般向けの著作(※)も意欲的に執筆、生物学を分かりやすく多くの人々に伝えるべく力を尽くされた。

さらに、クラシック音楽に関する造詣も深く、財団法人京都市音楽芸術文化振興財団(※)理事長、京響友の会(※)会長をはじめとする要職を歴任され、本市の文化芸術の振興に比類なき貢献をいただいている。

2 今後の予定

平成20年9月市会において同意を得たうえで、平成20年10月15日の京都市自治記念日に表彰する。

【参考】

■発生生物学について

生物の受精卵などが細胞分裂を繰り返し、様々な組織や器官に形を変えて、身体全体が形成されていくことを「発生」といい、その仕組みを探求する学問が「発生生物学」である。

■主な著作

『細胞の社会』（講談社ブルーバックス）

『生命科学の現場から』（新潮社）など、多数

■財団法人京都市音楽芸術文化振興財団について（平成5年3月設立）

京都市世界文化自由都市宣言の理念に基づき、クラシック音楽の普及及び向上に資する文化事業をはじめ、芸術・芸能の普及啓発に資する文化事業を実施し、もって京都の音楽文化の振興と地域文化の向上発展、更には、それらを通じた国際交流の発展に寄与することを目的に設立された京都市の外郭団体。

■京響友の会について（昭和31年10月設立）

京都市交響楽団が、名実ともに一流のオーケストラとして飛躍するための支援はもとより、音楽を通じて会員相互の連携を高め、広く京都市民の音楽文化の向上を目指すことを目的に設立された京響のサポーター団体。

■京都市名誉市民表彰条例（昭和28年度に創設）

第1条 本市市民又は本市に縁故の深い者で、公共の福祉を増進し、又は学術技芸の進展に寄与し、以ってひろく社会の進歩発展に貢献し、市民の尊敬の的と仰がれる者には、この条例によって、京都市名誉市民の称号を贈りこれを表彰する。

■過去の京都市名誉市民表彰被表彰者について

（別紙）「京都市名誉市民一覧表」を参照